

科目	地域・在宅看護の実際				
時間数	2単位 30時間	授業方法	講義	授業時期	2年
講師名	③越智歌織 ③佐竹京子				
実務経験	③看護師(医療機関等)				
ねらい	地域で生活する人々とその家族を理解し、地域における様々な場での看護活動を理解する。 (地域で生活しながら療養する人々および障害を持ちながら生活人々と、その家族を理解し、在宅療養を支える看護活動を理解する。				
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域・在宅看護過程の特徴、各段階におけるポイントを理解する。 2. 地域・在宅看護の特性をふまえた地域・在宅看護過程の展開方法を理解する。 3. 看護を展開するなかで、地域・在宅看護を発展させる視点を持つことの重要性を理解する。 4. 外来受診、入院、退院、在宅療養、終末期までのさまざまな時期の地域・在宅看護を理解する。 5. 地域・在宅看護がロングタームケアであることを理解する。 6. 地域・在宅看護実践における多職種連携・協働のなかで看護師が果たす役割、多職種で関わる意義を理解する。 7. 地域共生社会の実現のために地域で看護師が果たすべき役割を理解する。 8. 地域・在宅看護マネジメントとはどのようなものかを理解する。 9. 退院支援、外来、介護保険制度における地域・在宅看護マネジメントを理解する。 10. 地域・在宅看護活動の創造とは何かを理解する。 11. 地域で新たな看護活動を創造する意義や方法を理解する。 				
授業計画					
回	内容				
1	地域・在宅看護における看護の展開①				
2	地域・在宅看護における看護の展開②				
3	地域・在宅における時期別の看護①				
4	地域・在宅における時期別の看護②				
5	地域・在宅における時期別の看護③				
6	地域・在宅療養を支える医療ケア(医療機器の紹介)				
7	地域・在宅看護マネジメント①				
8	地域・在宅看護マネジメント②				
9	退院支援の連携とケアマネジメントの実際①				
10	退院支援の連携とケアマネジメントの実際②				
11	退院支援の連携とケアマネジメントの実際③				
12	ケアマネジメントの展開①				
13	ケアマネジメントの展開②				
14	作成したケアプランの評価とその方法				
15	学習のまとめ				
評価方法	各講師が各々の担当領域について終講時に筆記試験を行った結果及び平素の学習状況を総合して100点満点で評価する。 60点以上を及第点とする。				
教科書	地域・在宅看護論の実際:医学書院 1章、3章、5章、6章 写真でわかる訪問看護の実際:インターメディカ				